

妻沼聖天山

めぬまししょうでんざん

運 開
厄除け
縁結び



国指定重要文化財「本殿」正面（登録名称：歓喜院聖天堂）

聖天さま

しょうでんさま

妻沼聖天山は斎藤別当実盛公が、当地の庄司として、祖先伝来のご本尊聖天さまを治承三年（一一七九）にお祀りしたのに創まる。

実盛公は平家物語、保元物語、源平盛衰記や謡曲実盛、歌舞伎実盛物語などに、武勇に勝れ、義理人情に厚い人柄が称えられている。次いで実盛公の次男斎藤六実長が出家して阿請房良応となり、建久八年（一一九七）に本坊の歓喜院を開創した。

御本尊聖天さまは、正しくは大聖歓喜天と称せられ、弘法大師が唐より密教とともに仏法の守護神として請来されてから、日本でも祀られ、福運厄除の神として信仰されている。

妻沼聖天さまの御本尊は由緒の正しさでは日本最古の聖天尊像として知られ、特に縁結びの靈驗あらたかで、夫婦の縁はもちろんのこと、家内安全・商売繁昌・厄除け開運・交通安全・学業進学などのあらゆる良縁を結んでいた。なので、祈願を籠める人々が後を絶たない。

御本尊は錫杖の中央に祀られているので御正体錫杖頭として国指定重要文化財であるが、秘仏である。

御本殿

国指定重要文化財

御本殿は、奥殿（三十四間）、相の間（二十七間）、拝殿（二十七間）よりなる廟型式権現造りで、奥殿は八棟造りである。建造物の各部材、各壁面を総て彫刻で装飾し、華麗な彩色が施されている。江戸中期の貴重な文化遺構である。

この御本殿の建築は、幕府作事方棟梁として活躍した平内政信の子孫で、妻沼の工匠林兵庫正清の設計によって施工され、細工始めから二十五年の歳月をついやし、その子正信に引継がれ宝暦十年に完成したものである。

平成十五年より平成二十三年の八年間を要して保存修理工事が施され、外壁は創建当初の華麗な色彩が復元された。総工費十三億五千万円（内本体工事は十一億六千一百万円）で九億六千万円が国・県・市の補助金、三億五千万円がご信者の寄附。平成二十二年十一月十八日に本体工事の竣功式を執行。平成二十三年六月一日に竣功奉告法会を修行。以後一般公開。

寄附勧進にお応えいただいた各位に深く感謝申し上げます。

貴惣門

国指定重要文化財

当山の総門である「貴惣門」は、山口県吉川藩の作事方奉行長谷川重右衛門の秘伝を受け、林門左衛門正道の手により、弘化四年（一八四七年）に起工し、嘉永四年（一八五一年）に竣工した。

妻側からみた破風の形が今と変わっているのが特色である。様式の定形化する江戸末期にあつて、奇抜な意匠を採用したことは貴重なこととされ、関東地方には唯一の建物である。





奥殿西側より

重文妻沼聖天山本殿 透塀(玉垣)内 拝観

平成十五年から平成二十三年にかけての保存修理工事は国・県・市の補助金と二万人以上の方々の御寄附によって完成したものです。本券のご志納金を以て今後の維持・整備に当てさせていただきます。

お願いとご注意

※左記のお願いと
ご注意をあらかじめ
ご承知下さい。

- 1 受付時間は午前十時から午後四時まで(閉門は午後四時三十分)です。
- 2 本券一枚につき一名様限り有効です。ただし中学生以下のお子様は二名まで同伴できます。
- 3 場内の通行には十分ご注意下さい。通行中の事故等については責任を負いかねます。
- 4 場内への飲食物の持込及び喫煙は、固くお断りいたします。
- 5 場内でのビデオ・写真撮影・模写は許可しますが、建物・彫刻に触れたり、傷をつけたりしないように、また他の入場者の迷惑にならないように十分ご注意下さい。場合によっては撮影・模写を禁止することがあります。重大な過失がある場合、弁償していただくこともあります。
- 6 撮影した写真やビデオを営利目的に使用する場合は聖天山の文書による認定を受けて下さい。
- 7 場内のうち、透塀(玉垣)内での携帯電話の使用はお断りします。
- 8 場内では係員の指示に従って下さい。
- 9 場合によってはめめまボランティアガイド「阿うんの会」による説明があることがあります。
- 10 入場については聖天山の判断または都合により入場を中止する場合があります。
- 11 場内にはトイレはありませんので、ご承知下さい。
- 12 一度出場すると再び入場することはできません。
- 13 入場券の△部分の切り取られたものは入場券としては無効です。

妻沼聖天山 年中行事

元旦	初詣
2月節分	節分年男豆まき祭
3月第2土・日曜	浴油万日講参拝
4月18・19日	春季大祭
7月第1土曜	開基実盛公忌
8月13・15日	盆まつり
10月18・19日	秋季大祭
11月中	七五三祈願祭
12月22日	星祭厄除・祈願祭
12月31日	除夜の鐘
毎月1・15・18日	朝参り読経会
毎月1回期日不定	写経会

境内伽藍・仏像修理勧進

本殿保存修理工事にあたっては多大の勧進にお応え下されご浄財をご喜捨いただき、誠に有難うございました。

完成した本殿の彩色も日照風雨に曝されているため、劣化が激しく、今後たびたび補修をする必要があります。更に、今回の修復で飾れなくなった多くの絵馬の掲示施設・重文の貴惣門をはじめ仁王門・平和の塔・金剛殿など境内建物の補修・仁王像の修理等、枚挙にいとまがありません。先祖の心を後世に引き継ぐために一層のご信助をお願い申し上げます。透塀(玉垣)内拝観の入場志納金もこの経費に充当させていただきます。

なお、ご浄財は直接御寄附いただく方法と、写経奉納(一巻千円)による方法とあります。

妻沼聖天山歓喜院

〒360-0201 埼玉県熊谷市妻沼一六二七
☎ 〇四八八五八八一六四四